

札幌美術展

マイ・ホーム(仮)

2025.1.18 Sat - 3.9 Sun

札幌芸術の森美術館

頼りない、されど愛しい、マイ・ホーム。

ホーム (home) には、住宅、家庭、故郷、発祥地、本拠地などの意味があります。本来あるべき場所、頼りとなるものというニュアンスを含む言葉です。

昨今では、パンデミック、地域の過疎化、都市開発、移民問題、民族紛争など、ホームを揺るがしかねない出来事が相次いでいます。物質的もしくは精神的な「よすが」であるはずのホームは、思いがけず頼りなかったり、移ろいやすかったりするのかもしれません。

本展では、暮らし、制度、ルーツ、コミュニティーなど、ホームを形づくる様々な要素をテーマとした作品を紹介します。私たちが「仮に」身を置いているだけなのかもしれない、頼りなくも愛しいマイ・ホーム。北海道にゆかりのある作家7人の創作を通じて、そのあり方を見つめ直します。



武田浩志 《portrait 290》2024年 アクリル絵具、エポキシ樹脂、印刷物、ラメ、4K single-channel video、木製パネル

出品作家

葛西 由香
小林 知世
武田 浩志
田中マリナ
長坂 有希
南 阿沙美
米坂ヒデリ

9:45 ~ 17:00 (入館は閉館の30分前まで) 月曜休館 ※2月24日は開館し、翌2月25日は休館

観覧料 一般1,000(800)円、高校・大学生600(480)円、小・中学生300(240)円

※()内は前売・団体料金 ※小学生未満無料 ※65歳以上の方は当日料金が800(640)円。年齢の分かるものをご提示ください。
※障がい者手帳をお持ちの方は、当日窓口でご提示いただくと、ご本人と付き添いの方1名が無料になります。

主催/札幌芸術の森美術館(札幌芸術の森文化財団) 後援/札幌市、札幌市教育委員会

お問い合わせ先 札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)

TEL:011-591-0090 FAX:011-591-0099 〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75

artpark-info@artpark.or.jp

展覧会ホームページ <https://artpark.or.jp/tenrankai-event/myhome2025/>



生誕 120 年

入門・本郷新 —彫刻家が遺した愛— 展

2025年1月18日(土) - 3月9日(日) 札幌芸術の森美術館 B 展示室



1



2



3



4



5

- 1 《わだつみのこえ》1950年
ブロンズ
 - 2 《鳥を抱く女》制作年不詳
リトグラフ/紙
 - 3 《少年の壁》1969年
テラコッタ
 - 4 《十字架のキリスト》1979年
鉛筆・水彩/紙
 - 5 《無辜の民 油田地帯 I》1970年
ブロンズ
- 全て本郷新記念札幌彫刻美術館蔵

札幌出身の彫刻家本郷新（1905-1980）は、日本全国の公共空間に多数の野外彫刻を制作、設置したことから「戦後野外彫刻の第一人者」といわれています。本展は生誕 120 年を記念し、本郷新の入門編として彫刻家の生涯を回顧します。

本郷新の代表作には、戦没学生記念像《わだつみのこえ》、札幌市民に親しまれている札幌市大通公園の《泉》、札幌駅前の《牧歌》、函館市啄木小公園の《石川啄木》、稚内公園の《氷雪の門》などがあります。制作者の名前を知らなくても、多くの人が本郷新の作品を一度は目にしているでしょう。

本展では、本郷新記念札幌彫刻美術館所蔵作品より厳選した初期から晩年までの作品から、彫刻家本郷新の人生の歩みをたどります。

野外彫刻のエスキースや「無辜の民」シリーズ、テラコッタや木による彫刻、家族をテーマとした作品、病床の中で描いていた《十字架のキリスト》など、彫刻や絵画 33 点を展示します。亡くなる直前まで描いた《十字架のキリスト》は、彫刻にすることを意識して構想を練った素描でした。見舞客には元気になったら彫刻にすると語っていたそうです。最期まで彫刻家であろうとした本郷が、彫刻への愛をとおしてどんなメッセージを遺したのか、ぜひご覧ください。

本郷新 (1905-1980) HONGOHI Shin

東京高等工芸学校（現千葉大学工学部）工芸図案科工芸彫刻部で彫刻を学ぶとともに、高村光太郎に師事。ロダン、ブールデルなど西洋近代彫刻の影響を受けながら、写実を基盤とした造形を探究します。彫刻の社会性、公共性を重要視した本郷は、戦後、モニュメンタルな野外彫刻の制作にとりわけ熱意を傾けました。ダイナミックで力強い生命感にあふれる本郷の人体像は、たえず社会に目を向け、平和を希求した彫刻家の情熱を映すものであり、観る者に時代を経ても色褪せることのない感動を与えてくれます。



世田谷のアトリエにて 1974年 撮影：田村茂

時間：午前9時45分 - 午後5時（入館は閉館の30分前まで） 月曜休館 ※2月24日は開館し、翌2月25日は休館

観覧料：無料（同時開催の特別展「札幌美術展 マイ・ホーム（仮）」の鑑賞券なしでも入場可）

主催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）

お問い合わせ先 札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）

TEL 011-591-0090 FAX 011-591-0099